



各 位

平成 27 年 6 月 26 日

会 社 名 株式会社 SOL Holdings
 代 表 者 代表取締役 田中 英雄
 (J A S D A Q ・ コード 6636)
 問 合 せ 先 取締役管理部長 中原 麗
 電 話 0 3 - 3 4 4 9 - 3 9 3 9

連結業績予想値のお知らせ

平成 28 年 3 月期における当社グループの連結業績予想値を、お知らせいたします。

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300 ~	177.1 ~	△1,055 ~	-	△1,057 ~	-	△1,060 ~	-	△59.66 ~
	4,268	328.8	△398		△400		△400		△22.51

事業別の売上予想、売上時期、前提条件及び潜在するリスクにつきましては後述のとおりです。但し、バイオ燃料事業における売上につきましては、各国共通事項として販売予定先との契約締結が行えない場合、また、契約締結後販売した種子の売掛金回収が困難になった場合、その他、天候不順による種子の不作や期待した程の収穫量が得られない場合、バイオ燃料の需要や市場規模が想定したとおりの拡大をしない場合、販売網の整備状況等により当初の想定したとおりの拡大をしない場合、現時点においては認識していないもの他社の新規参入による競争激化によりバイオ燃料としての価格優位性が低下した場合、バイオ燃料に関する技術革新に対し当社グループが適切かつ迅速に対応できなかった場合等により、バイオ燃料事業の売上計上が全くできなかった時は、当社連結業績に大きく影響を及ぼすことが予想されます。

このためバイオ燃料事業の売上計上が全くできなかったときの予想値と、当社が期待したとおりの売上計上ができた場合の予想値をレンジ形式にて記載しています。

1. 事業別の売上

(単位：百万円)

事業	売上予想
テストソリューション事業	1,400
バイオ燃料事業	0～1,968
レストラン・ウェディング事業	900

2. 事業別売上時期

(1) テストソリューション事業につきましては、第1四半期 312 百万円、第2四半期 355 百万円、第3四半期 365 百万円、第4四半期 368 百万円、通期累計 1,400 百万円を見込んでおります。前期実績値は 1,173 百万円であり、大幅な増収は見込めませんが堅調に推移しており、今期につきましても前期同等の売上確保は問題ないものと考えております。

(2) バイオ燃料事業につきましては、国別に売上予想を立てております。以下については当社が期待した通り売上計上した場合の売上計上時期を記載しています。

① インドネシア

インドネシアにつきましては、バイオマスペレット製造事業による売上を、8月、12月、3月にそれぞれ 10 百万円、今期は 30 百万円を見込んでおります。

② タイ

タイにつきましては、SORG.JT と平成 27 年 2 月 12 日締結の種子販売代理店契約（独占契約）に基づき、初回オーダー 10t 含め、年間最低購入数量 150t (US\$100/kg)、US\$/120 円換算で 1,800 百万円の種子販売契約を締結しております。本契約につきましては、平成 27 年 8 月に 1 ha あたり 100t の収穫が種子購入の条件となっております。売上予想時期につきましては、平成 27 年 9 月～平成 28 年 3 月を、売上高につきましては 1,800 百万円を見込んでおります。

③ メキシコ

メキシコにつきましては、種子販売予定先 4 社（内 1 社 MOU 締結済）に対しまして、8月 3 百万円、10月 8 百万円、12月 10 百万円、1月 5 百万円、3月 54 百万円、今期 80 百万円を見込んでおります。

④ ベトナム

ベトナムにつきましては、TH Milk、VINA Milk 等への種子販売にて 7月 3 百万円、12月 15.4 百万円、3月 28.9 百万円、現地における営農指導料として 11 百万円、今期 58 百万円の売上を見込んでおります。

(3) レストラン・ウエディング事業

レストラン・ウエディング事業に関しましては、イタリアンレストラン、ナチュラルダイエットレストラン、ウエディングの運営を行っており、売上につきましては月間平均 75 百万円、年間売上 900 百万円を予測しております。前期につきましては年間売上 836 百万円でありますが、これは前親会社が民事再生を行ったこと受け、ウエディングの広告宣伝が行えなかったことによる売上の落込分であります。今期につきましては、広告掲載の制約も解除されており既に 40 件の予約をいただいております。宣伝広告の反響もあり通期 80 件までの成約確保を目指しております。これにより、売上合計 900 百万円は達成できるものと見込んでおります。

3. 売上計上の前提条件

(1) 半導体事業

半導体事業につきましては、業績達成に関する前提条件は特段ありません。

(2) バイオ燃料事業

① インドネシア

インドネシアにおけるバイオペレットの製造販売における売上計上に関しましては、スーパーソルガムより製造しますバイオマスペレットを販売する予定です。現在当社が販売を予定している先からは、口頭ではありますが購入意思を確認しています。

② タイ

タイにつきましては、SORG JT との独占販売契約における下記条件を達成することで、今期、スーパーソルガム種子 150t (US\$100/kg) の販売予定となっております。但し、9月以降のスーパーソルガム種子の納入数量、納入時期につきましては、8月の1回目の収穫後に協議を行う予定です。また、SORG JT の購入、販売計画及び、種子代金の支払資金の確保状況につきましても現時点におきましては、確認できておりません。

【達成条件】

2015年8月・タイにおける試験栽培 1ha あたり 100t の収穫

③ メキシコ

前期末にメキシコに陸揚げできなかった種子につきましては、今期無事陸揚げが完了しており、現地法人の設立も完了する等、各販売予定先への販売の準備も整いました。売上計上の前提条件といたしましては、販売予定先 4 社との契約締結完了が

条件となります。

④ ベトナム

ベトナムにつきましては、前期 TH Milk、VINA Milk 等への種子の輸出にしまして販売先ごとに個別にて輸入許可を取得していました。これは、スーパーソルガム種子の種子登録が完了していなかったことによります。今期につきましては、ベトナムにおける現地法人及び、スーパーソルガム種子登録も完了しており、当社のタイミングで輸出できる手続きが完了しています。

(3) レストラン・ウエディング事業

レストラン・ウエディング事業にしまして、売上達成の前提条件は売上単価の大きいウエディングの成約件数に左右されます。現時点におきましては、40 件の予約をいただいておりますが、通期売上 900 百万円を達成するには、追加 40 件の予約を確保すること及び、既存の予約がキャンセルされないことが最低条件となります。

4. 売上達成が困難になるリスク

(1) テストソリューション事業

半導体事業にしましては、前期より堅調に推移しており取引先に関しましても大手メーカーが売上の半数を占めております。現時点におきまして予想されるリスクは特段存在しないものと考えております。

(2) バイオ燃料事業

① インドネシア

インドネシアにしましては、既に販売予定先も確保しているため上述のとおり、予定どおりの数量を生産することでリスク回避できるものと考えております。但し、植物ですので、異常気象、天変地異、その他不足の事態にて予定している収穫ができず、結果、ペレット製造ができない可能性があります。また、販売予定先から当社が想定している数量の発注がされないことも想定されます。

② タイ

タイにつきましては、タイにおける試験栽培にて今年 8 月に 1 ha あたり 100t の収穫が販売の前提条件でありますので、予定数量が収穫できないときは、売上が見込めないこととなります。また、販売予定先から当社が想定している数量の発注がされないことも想定されます。

③ メキシコ

メキシコにつきましては、現地に設立しました当社子会社において種子販売及びサイレージ事業を展開する予定です。種子販売につきましては、輸入許可の遅れが発生した時は、予定した時期に販売ができないことが予想されます。また、種子販売及び、サイレージ事業につきましても、現時点におきましてメキシコでの実績がないため、販売条件、品質において合意にいたらない場合は、当社が予定している販売先との契約が締結できない可能性があります。

④ ベトナム

ベトナムにつきましては、気象条件等により当社が予定している時期に売上計上が見込めないことが予想されます。また、当社が予定している数量を購入されない可能性もあります。

(3) レストラン・ウエディング事業

レストラン・ウエディング事業につきましては、販売単価の大きいウエディングの成約が今期 900 百万円の売上達成に大きく影響いたします。既に 40 件は予約を獲得しておりますが、今後 1 件も予約が取れない又は、既に予約済のキャンセルが発生した時は、当社が予測している売上が計上できないおそれがあります。

5. 中期経営計画の取下げ

当社が平成 25 年 12 月 13 日に公表しました中期経営計画につきましては、平成 26 年 3 月期及び、平成 27 年 3 月期の実績、さらに今期予想値と大幅に数値目標が乖離しているため、これを取り下げます。

(注 1) 通期業績予想における当期純利益ですが、今期はスーパーソルガム種子の研究開発費といたしまして、平成 28 年 1 月までに 180 百万円の支出を予定しております。研究開発費につきましては、当社が平成 26 年 10 月 7 日に公表しました「第三者割当による第 1 回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第 5 回新株予約権発行に関するお知らせ」により発行いたしました新株予約権の行使による調達資金から充当を行い、当該支出は全額費用となります。

(注 2) バイオ燃料事業につきましては、現時点におきまして、1 US\$/120 円換算で計算していますが、売上金につきましては為替に影響されますので、当初予想値から大きく変動することも予想されます。

(注 3) 業績予想につきましては、バイオ燃料事業の実態に合わせ適宜修正を行います。

以 上